

1

言語

ことばの学習(1)
漢字の形と音

名 前

年

組

番

／ 11 問

1 次の漢字のグループから、共通した部分をぬき出し、その音読みを書きましよう。

〈例〉化・花・貨 化 ↓ (か)

※それぞれ完全で正解。

① 長・帳・張

長 ↓ (ちょう)

② 清・静・精

青 ↓ (せい)

③ 飯・版・板

反 ↓ (はん)

④ 固・湖・故

古 ↓ (こ)

⑤ 則・側・測

則 ↓ (そく)

2 共通した部分を持つ同音の漢字のうち、正しいほうを選んで、○で囲みましょう。

〈例〉チョウの (票・標) 本を作る。

① (組・祖) 父にほめられる。

② すもうの土 (表・俵)。

③ (波・破) 乱の人生を送る。

●「破」は、「破格」「大破」のように使います。

④ (建・健) 康に気をつける。

⑤ (適・敵) 当なことを言う。

⑥ 郷 (里・理) に帰る。

2

言語

ことばの学習(2)

漢字の読み方

名前

年

組

番

／ 13問

1 線の漢字の読みを書きましょう。

① 幕府を開く。

ばくふ

② オリンピックが開幕する。

かいまく

③ 再来週に出かける。

さらいしゅう

④ 友人と再会する。

さいかい

⑤ 武者ぶるいする。

むしや

⑥ 武士の世。

ぶし

⑦ 大きな規模の大会。

きぼ

⑧ 模様をえがく。

もよう

2 次の二つの□に当てはまる、読み方のちがう同じ漢字を書きましょう。

〈例〉同じ時間・同じ人間

① 合 図 をする・

図

書館の本

② 長い 直 線・正

直

な人

③ 決 定 する・三角

定

規

④ 名 物 のだんご・荷

物

を持つ

⑤ 去 年の夏・過

去

のできごと

※それぞれ完全で正解。

3

言語

ことばの学習(3)
言葉の意味名 前
年 組
番

／ 13 問

1 次の言葉の意味を後から選んで、記号で答えましょう。

① 軽い

- 1 この問題を解くのは、軽い、軽い。(ウ)
2 軽いかばんを持ち歩く。(イ)
3 軽い病気で、すぐ治った。(エ)
4 軽い気持ちで引き受ける。(ア)
ア 気楽である。 イ 重量が少ない。
ウ たやすいことだ。 エ あまりひどくない。

② 見る

- 1 飼い主の留守中にペットを見る仕事。(ウ)
2 毎朝、食事前に新聞を見る。(エ)
3 あなたはこの問題をどう見る? (ア)
4 山の上から自分の町を見る。(イ)
ア 考える。 イ ながめる。
ウ 世話をする。 エ 読む。

2 次の () には、それぞれ同じ言葉が入ります。□ から選んで書き入れま

しょう。●ほかに、「会議が流れる」(やめになる)のように使います。

※それぞれ完全で正解。

- ① 川が (流れる) 。 月日が (流れる) 。
② 波の音を (聞く) 。 人に道を (聞く) 。
③ はさみで (切る) 。 言葉を (切る) 。
④ 計算が (合う) 。 気が (合う) 。
⑤ つなを (引く) 。 線を (引く) 。

切る 引く 流れる 聞く 合う

4

言語

ことばの学習(4)

反対の意味の言葉

名 前

年

組

番

／ 17 問

1 次の——の言葉と反対の意味になる言葉を書きましよう。

〈例〉窓まどを開ける。 ↔ ドアを(閉しめる)。

① 夜おそくねる。 ↔ 朝早く(起きる)。

② 約束を破る。 ↔ 約束を(守る)。

③ 寒い一日だった。 ↔ (暑い)一日だった。

④ 話し手はきちんと伝える。 ↔ (聞き手)は耳をかたむける。
●「あつい」は、ほかに「熱い」「厚い」があります。正しく使い分けましよう。

⑤ 先祖のことを考える。 ↔ (子孫)のことを考える。

2 次の言葉と反対の意味の言葉になるように、□に漢字を書き入れましよう。

① 支店 ↔ 本店

② 直接 ↔ 間接

③ 和食 ↔ 洋食

④ 肉食 ↔ 草食

⑤ 悪評 ↔ 好評

⑥ 入場 ↔ 退場

⑦ 点火 ↔ 消火

⑧ 不作 ↔ 豊作

⑨ 楽観 ↔ 悲観

⑩ 反対 ↔ 賛成

⑪ 増加 ↔ 減少

⑫ 貿易赤字 ↔ 貿易黒字

5

言語

ことばの学習(5)
同じ読み方の熟語

名前

年

組

番

／ 17 問

1 次の熟語を後から選んで、書き入れましょう。

① 子どもが

対象

の服を買う。

②

対照

的な二人。

対照 対象

③ 歯をみがく

習慣

がある。

④

週間

の予定。

⑤ 週刊

誌を読む。

週間 習慣 週刊

2 次の熟語を、それぞれ書き分けましょう。

①

高価

な商品。

②

効果

的な表現。

⑤

正確

に伝える。

⑥

やさしい

性格

⑨

器械

体操の選手。

⑩

友達に会う

機会

●ほかに「機械」などがあります。

③

熱帯雨林

気候

の土地。

④

紀行

文を書く。

⑦

国語

辞典

で調べる。

⑧

百科

事典

を見る。

⑪

最終

的な結論。

⑫

こん虫

採集

をする。

『ドリルプリント』

小学校6年・国語

6

言語

ことばの学習(6)
送りがな

名 前

年

組

番

/ 17 問

1 線の漢字の読みを書きましょう。

ほそ

こま

① 細い糸でぬう。

② 細かい砂^{すな}をつめる。

あ

あか

あき

③ 夜を明^あかす。

④ 明るい光の筋^{すじ}。

⑤ 明らかな原因がある。

2 送りがなの正しいものをそれぞれ選んで、☐で囲みましょう。

① 育る・育^うてる・育だてる

② 少い・少^{すく}ない・少くない

③ 改る・改^{あら}める・改ためる

④ 全^{すべ}く・全たく・全ったく

⑤ 喜ぶ・喜^{よろこ}ぶ・喜ろこぶ

⑥ 加る・加^くえる・加わえる

⑦ 快^こい・快よい・快ろよい

⑧ 悲い・悲^{かな}しい・悲なしい

3 次の漢字に送りがなを付けましょう。

① おわる ↓ 終^はる

② あたらしい ↓ 新^{あらた}しい

③ つめたい ↓ 冷^{ひや}たい

④ あぶない ↓ 危^{あぶ}ない

7

言語

ことばの学習(7)

ことわざ

名前

年

組

番

／ 15 問

1 次の意味のことわざを後から選んで、記号で答えましょう。

- ① 指図する人が多いと、ものごとが見当ちがいの方向に進むこと。 (オ)
② 遠回りで、効果がないこと。 (カ)
③ よいと思ったら、すぐにとりかかるのがよいこと。 (ウ)
④ わずかなものも、積み重なれば大きなものになること。 (ア)
⑤ 大きな仕事も、手近なところから始まること。 (イ)
⑥ 何人かで集まって相談すると、よいちえが生まれるということ。 (キ)
⑦ 心配するより、やってみるとうまくいくものだということ。 (エ)

ア ちりも積もれば山となる イ 千里の道も一歩から
ウ 善^{ぜん}は急げ エ 案ずるより産むが易^{やす}し
オ 船頭多くして船山^{ふねやま}を上^{のぼ}る カ 二階から目薬
キ 三人寄れば文殊^{もんじゆ}のちえ

2 次のことわざと同じような意味のことわざを後から選んで、記号で答えましょう。

- ① あぶはち取らず (ク)
② ぶたに真珠^{しんじゆ} (ア)
③ 泣きつらにはち (エ)
④ のれんに腕押^{うでお}し (オ)
⑤ 果報は寝^ねて待て (キ)
⑥ さるも木から落ちる (イ)
⑦ せいてはことを仕損じる (ウ)
⑧ 念には念を入れよ (カ)

● 「ぬかにくぎ」も同じような意味のことわざです。

ア ねこに小判 イ 弘法^{こうぼう}にも筆の誤^{あやま}り
ウ 急^{いそ}がば回れ エ 弱^{よわ}り目にたたり目
オ 豆腐^{とうふ}にかすがい カ 石橋^{いしはし}をたたいてわたる
キ 待てば海路^{ひより}の日和あり ク 二兎^{にと}を追うものは一兎をも得ず

8

言語

ことばの学習(8)

四字の熟語

名前 年 組 番

／ 13問

1 次の四字の熟語の意味に合うものを、——で結びましょう。

- | | | | | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| ① 無我夢中
<small>むがむちゅう</small> | ② 異口同音
<small>いくどうおん</small> | ③ 誠心誠意
<small>せいしんせい</small> | ④ 臨機応変
<small>りんきおうへん</small> | ⑤ 公明正大
<small>こうめいせいだい</small> | ⑥ 一石二鳥
<small>いっせきにちよう</small> | ⑦ 油断大敵
<small>ゆだんたいてき</small> | ⑧ 我田引水
<small>がでんいんすい</small> |
| ① ① ① ① ① ① ① ① | ② ② ② ② ② ② ② ② | ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ | ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ | ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ | ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ | ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ | ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ |

「異口同音」は、「異句同音」と書きまちがえないようにしましょう。

2 次の意味の四字の熟語になるように、□に漢字を書き入れましょう。

① 予想がすべて当たること。

百 発 百 中

② よいところも悪いところもあること。

一 長 一 短

③ あれこれ言わずに、実行すること。

不 言 実 行

④ だれにでもいい顔をしてつき合うこと。

八 方 美 人

⑤ 少しのちがいがあっても、ほとんど同じということ。

大 同 小 異

9

言語

ことばの学習(9)

同じ訓を持つ漢字

名前

年組番

／ 19問

1 次の文中の（ ）の漢字のうち、正しい方を○で囲みましょう。

- ① 先生に、手を（上・**挙**）げて質問する。
② 荷物をあみだなに（上・**挙**）げる。
③ 店で、自分に（合・**会**）う服を**さが**す。
④ 駅でたまたま友人に（合・**会**）う。
⑤ そうじ当番を（代・**変**）わってもらう。
⑥ 信号が赤から青に（代・**変**）わる。
⑦ 観光地をおとずれる人が後を（立・**建**・**絶**）たない。
⑧ みんなの前に（立・**建**・**絶**）って話をする。
⑨ 街の中心地に大きなビルが（立・**建**・**絶**）つ。

2 □に、同じ訓を持つ、別の漢字を書き入れましょう。

- ① 夜中に目が**覚**める。
② コーヒーが**冷**める。

- ③ 人のために骨を**折**る。
④ 布を**織**る。

●「骨を折る」は、物事を成しとげるために苦労することです。

- ⑤ お年寄りに席を**空**ける。
⑥ 夜が**明**ける。
⑦ 重いとびらを**開**ける。

- ⑧ いおふろに入る。**熱** あっ
⑨ い本を読む。**厚** あっ
⑩ 毎日**暑**い日が続く。 あっ

10

言語

ことばの学習(10)
漢字の使い方

名前
年組番

／ 13問

1 次の文中の（ ）の漢字のうち、正しい方を○で囲みましょう。

- ① (動・働) 物の世話をする。
- ② 放(果・課) 後、友人の家に遊びに行く。
- ③ 旅行をした人の(記・紀) 行文を読む。
- ④ 兄は正(義・議) 感が強い。
- ⑤ ビルの(官・管) 理会社に電話をする。
- ⑥ 知人の家を訪(訪・問) する。
- ⑦ 気(求・球・救) に乗って空を飛ぶ。
- ⑧ 店までの道を往(復・複・腹) する。

2 次の文から、まちがった使い方をしている漢字を書きぬき、正しい漢字を書きましよう。

① 道をわたる時は、車に柱意する。

柱
↓
注

② 各国の取都を覚える。

取
↓
首

③ 地元の人が共力して川をきれいにする。

共
↓
協

④ それぞれの人の固性が出た文章を読む。

固
↓
個

⑤ 遊園地の入場量をはらう。

量
↓
料

※それぞれ完答で正解。

11

言語

ことばの学習(11)

類義語

名前

年

組

番

／ 17問

1 次の言葉と同じような意味の言葉を、☐から選んで、記号で答えましょう。

① 案外	(ケ)	② 安全	(カ)	③ 健康	(オ)
④ 利用	(コ)	⑤ 天然	(イ)	⑥ 単調	(キ)
⑦ 美点	(サ)	⑧ 事情	(ク)	⑨ 快活	(シ)
⑩ 技量	(エ)	⑪ 不在	(ア)	⑫ 残念	(ウ)

ア	留守	イ	自然	ウ	無念	エ	能力	オ	健全
カ	無事	キ	平板	ク	理由	ケ	意外	コ	活用
サ	長所	シ	活発	● 「平板」は、変化にとほしいことです。					

2 ——— の言葉と同じような意味の言葉を、☐に漢字一字を入れて完成させましょう。

① 遠足の用意をする。 ↓ 遠足の準 **備** をする。

② 体の具合が悪そうだ。 ↓ 体の **調** 子が悪そうだ。

③ 全体の組み立てを考える。 ↓ 全体の **構** 成を考える。

④ かんたん 簡単に解ける問題。 ↓ 容 **易** に解ける問題。

⑤ よい方法がある。 ↓ よい **手** 段がある。

12

言語

ことばの学習(12)
慣用句

名前

年

組

番

／ 15 問

1 □に当てはまる漢字を、□から選んで書き入れ、下の意味を持つ慣用句を完成させましょう。

① 鼻
が高い…自まんである。

② 足
が出る…費用がかかって、お金が足りなくなる。

③ 口
が重い…言葉数が少ない。

④ 手
を焼く…持て余す。取りあつかいに困る。

⑤ 耳
が痛い…言われたことが、自分の弱点についているので、つらい。

手 足 目 鼻 口 耳

2 次の慣用句の意味に合うものを□から選んで、記号で答えましょう。

① 油を売る
くちぐるま

③ 口車に乗る

⑤ ねた子を起こす

⑦ えりを正す

⑨ 大ぶろしきを広げる

② さじを投げる

④ かぶとをぬぐ

⑥ お茶をにごす

⑧ とりつく島もない

⑩ 木で鼻をくくる

ア うまいことを言われて、だまされること。イ 降参こうさんすること。
ウ いいかげんにごまかすこと。エ 心をひきしめてまじめになること。
オ むだ話をして、時間をつぶすこと。カ ひどく冷たい態度で接すること。
キ すんだことを、また問題にすること。ク 近寄りようがない様子。
ケ 方法がなく、あきらめること。コ できもしないことを話すこと。

13

言語

ことばの学習(13)
熟語の成り立ち

名前

年

組

番

／ 14問

1 次の①～④の成り立ちの熟語を、から二つずつ選んで書き入れましょう。

※順不同可。

① 「左右」のように、意味が反対になる漢字の組み合わせ。

天地

開閉

② 「道路」のように、似た意味の漢字の組み合わせ。

変化

豊富

③ 「高山」のように、上の漢字が下の漢字を修飾するもの。

急流

温水

④ 「登山」のように、「―を」「―に」の意味に当たる漢字が下にくるもの。

入室

習字

変化

天地

入室

急流

習字

温水

開閉

豊富

2 次の漢字と意味が反対になる漢字を書き入れて、二字の熟語を作りましょう。

① 進

退

②

終

始

③ 前

後

●意味が反対になる漢字を組み合わせた熟語には、ほかに「強弱」「往来」「勝敗」「苦楽」「明暗」などがあります。

3 次の熟語と成り立ちが同じ熟語をそれぞれ選んで、で囲みましょう。

① 衣服

(

寒波

全身

発声

製造

善悪

)

② 読書

(

進出

乗車

長短

大木

船旅

)

③ 外国

(

南風

作文

絵画

入学

増減

)

14

言語

ことばの学習(14)
特別な読み方の漢字・かなのも
とになった漢字

名前

年

組

番

／ 20 問

1 線の漢字の読みを書きましょう。

たなばた

きのう

※「さくじつ」でも
正解。

① 明日は七夕のお祭りだ。

② 昨日は大雨が降った。

けさ

まっか

③ 今朝はねぼうをした。

④ 真っ赤な顔をしている。

まいご

ついたち

⑤ 駅で迷子になる。

⑥ 四月一日に登校する。

とけい

じょうず

⑦ 時計を合わせる。

⑧ 上手に絵をかく。

くだもの

やおや

⑨ 果物を食べる。

⑩ 八百屋でトマトを買う。

●特別な読み方の漢字には、ほかに「明日」^{あす}「大人」^{おとな}「今日」^{きょう}「二十日」^{はつか}「眼鏡」^{めがね}などがあります。

2 ひらがなは漢字をくずして書くことから、かたかなは漢字の一部をとって書く
ことから生まれました。次のひらがなやかたかなのもとになった漢字を、
ら選んで書き入れましょう。

不

↓ふ

②

和

↓わ

③

安

↓あ

④

礼

↓れ

波

↓は

⑥

加

↓か

⑦

多

↓た

⑧

宇

↓う

比

↓ひ

⑩

利

↓り

安 礼 不 波 和 比 宇 加 利 多

15

言語

ことばの学習(15)

文末の言い方

名前

年

組

番

／ 10問

1 次の——のうち、より強く確信している言い方に、それぞれ○を付けましょう。

① () () この足あとはねこのものだ。

() () この足あとはねこのものらしい。

② () () 今日は雨が降るかもしれない。

() () 今日は雨が降るにちがいない。

③ () () 明日は晴れるはずだ。

() () 明日は晴れるだろう。

2 次の——のうち、人から聞いた言い方に、それぞれ○を付けましょう。

① () () この川には魚がたくさんいるようだ。

() () この川には魚がたくさんいるということだ。

② () () この川には魚はあまりいないそうだ。

() () この川には魚はあまりいないようだ。

3 次の——の言い方を、正しい言い方に直して書きましょう。

① あなたは、けっして悪い。

●「けっしてない」の形です。

悪くない

② どうかそこにおすわりなさい。

おすわりください

③ 三時にはケーキが食べる。

食べられる

④ 明日のテストで、まさか0点はとらない。

とらないだろう

⑤ 君はどうしてあの山に登る。

登るのか

16

言語

ことばの学習(16)

接続語

名前

年

組

番

／9問

1 () に当てはまる言葉を、□から選んで書き入れましょう。

① 雨が降りそうだ。() **だから** ()、かさを持って来た。② もう意見はありませんか。() **では** ()、決を採ります。③ 犬が私のことを見た。() **そして** ()、しっぽをふった。④ ぼくはカレーが好きだ。() **でも** ()、今はあまり食べたくない。⑤ 私は図書館によく行く。() **なぜなら** ()、本が大好きだからだ。

でも では だから なぜなら そして

2 次のうち、前の内容とは逆の内容が後に来ているものに、それぞれ○を付けましょう。

① () ○ ()
() 今朝は天気がよかった。ところが、夕方からどしゃ降りになった。
() 今朝はくもっていた。そのうえ、夜から雪も降った。② () ()
() 練習をたくさんした。それで、ピアノが上手になった。
() 練習をたくさんした。けれども、ピアノは上手にならなかった。

●前後の内容が逆になる接続語は、ほかに「しかし」「でも」「だが」などがあります。

3 次のうち、前の内容が原因や理由で、後の内容がその結果になっているものに、それぞれ○を付けましょう。

① () ()
() まず薬屋さんに行きます。それから、八百屋さんに行きます。
() 家に教科書を忘れました。そこで、走って家にもどりました。② () ()
() 今日はいい天気です。だから、公園まで散歩に行きます。
() 明日は海で泳げます。または、山に登れます。

17

言語

ことばの学習(17)

複合語

名前

年

組

番

/9問

1 二つ合わせた言葉で、正しい方に○を付けましょう。

① 持つ + 出す ↓

()	(○)
()	()
()	()

持ち出す
持て出す

② はしら + とけい ↓

()	()
(○)	()
()	()

はしらどけい
はしらとけい

③ よぶ + とめる ↓

()	(○)
()	()
()	()

よびとめる
よべとめる

④ かぜ + くるま ↓

()	(○)
()	()
()	()

かぎぐるま
かぜぐるま

●「風」を「かぜ」と読むものは、ほかに「風上」「風穴」「風向き」などがあります。

2 次の言葉は、二つ合わせて、どいう言葉になりますか。〈例〉にならって

ひらがなで書きましょう。

〈例〉とぶ + あがる 〓 () とびあがる ()

① いう + あらわす 〓 () いいあらわす ()

② ほそい + ながい 〓 () ほそながい ()

③ ちよきん + はこ 〓 () ちよきんばこ ()

④ かね + もの 〓 () かなもの ()

⑤ かける + あがる 〓 () かけあがる ()

18

言語

ことばのおそろい
 反対の意味の言葉 三字の熟語
 同音異字

名前

年

組

番

／17問

1 次の——線の言葉と反対の意味の言葉を、の漢字を組み合わせて書きましょう。

① この先は危険な場所だ。

② 川田^{かわだ}さんの意見に反対する。

③ 元気なので安心した。

④ 運動を楽しむ人が増加した。

⑤ 交通が不便な所。

2 次の三字熟語の構成をあとから選び、記号を答えましょう。

- | | | | |
|-------|--------------|-------|--------------|
| ① 衣食住 | (<u>ウ</u>) | ② 親孝行 | (<u>ア</u>) |
| ③ 貴重品 | (<u>イ</u>) | ④ 街路樹 | (<u>イ</u>) |
| ⑤ 再発行 | (<u>ア</u>) | ⑥ 市町村 | (<u>ウ</u>) |

ア 一字の語 + 二字熟語 イ 二字熟語 + 一字の語
 ウ 一字の後が三つならぶ

3 次のに、次の音読みをもつ漢字を書きましょう。

・そう… ① ピアノ協 **奏** 曲。 ② 包 **装** 紙。 ③ 高 **層** ビル。

・せん… ④ 温 **泉** に入る。 ⑤ **専** 門家。 ⑥ 朝の **洗** 顔。

まづがえやすい 右かたに「、」を書かないようにしましょう。

19

言語

ことばのおさらい

同訓異字 ことわざ 部首

名前

年

組

番

／13問

1 □に、同じ訓を持つ、別の漢字を書き入れましょう。

② 問題を	と	① 教えを	と
解		説	
く。		く。	

④ 税金を	と	③ 領地を	と
納		治	
める。		める。	

⑥ 熱	と	⑤ 厚	と
熱		厚	
い友情。		い本。	

●「おさめる」は、ほかに「学業を修める」「勝利を収める」があります。

2 次の①②③のことわざの意味をあとから選び、番号を書きましょう。

① 1 情けは人のためならず

- 1 情けをかけるのは人のためだけでなく、自分のためにもなる。
- 2 情けはその人のためにはならないから、かけないほうがよい。
- 3 情けはその人ばかりでなく、世の中の人のためになる。

② 3 好きこそものの上手なれ

- 1 いろいろやってみると、何か一つは上手になるものだ。
- 2 きらいなことでも続けているうちに上手になり、好きにもなる。
- 3 自分の好きなことは熱心にやるから、上手になるのも早い。

③ 2 ねこの手も借りたい

- 1 ねこと遊ぶほど、とてもひまなこと。
- 2 いそがしくて、人手が足りないこと。
- 3 時には、気分を変える必要があること。

3 次の□に、次の部首をもつ漢字を書きましょう。

②	①	③	④
誕	訪	誤	誌
たん	たず	あやま	し
友の家を	ねる。	った字を書く。	をかう。
・ごんべん			
生日のプレゼント。			
月刊			

20

言語

ことばのおそらい

慣用句 四字の熟語 形の似ている漢字

名前

年組番

／14問

1 次の——線の言葉が正しく使われているものに、○を付けましょう。

① () あの人には口がかたいから、よく歯医者に通っている。
() 姉は口がかたいからいつもご飯を少ししか食べない。

(○) あの方は口がかたいから信用できる。

(○) そんな高級品はわたしには手が届かない。

② () ねぼうしたので、約束の時間に手が届かない。

() この計算問題はぼくには手が届かないほど難しい。

() うでによりをかけると、料理はとてもはやく完成する。

③ (○) お母さんがうでによりをかけた料理だからおいしいよ。

() うでによりをかけて勉強したから満点だった。

2 次の□に漢字を当てはめて、四字熟語を完成させましょう。

① あの人のお明正 大 なたがらは、見習いたいものだ。

② 入賞の知らせを聞いても、最初は半信半 疑 だった。

③ ばんおどりが始まると、人々は三々 五 々集まってきた。

●「三々五々」は、ちらほらという意味です。

④ 全員が、異 口 同音にお礼の言葉を言う。

⑤ 母は、電気の節約は家計にも地球にもやさしく、一石二 鳥 だと言う。

3 次の□に合う、形の似ている漢字を書きましょう。

① 歌の作

詞

②

司

会者。

③ 銀河

系

④

給食の

係

⑤ 月

謝

をはらう。

⑥

矢を

射

る。